
未来は僕等の手の中

越前リョーマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未来は僕等の手の中

【Nコード】

N0380A

【作者名】

越前リヨーマ

【あらすじ】

このお話は、新一と蘭の初めての恋の物語です。初めて出会った二人の恋のラブコメリーです、もしもアナタが、こんな恋をしたらどう思いますか??感動のお話なので、泣いてください。泣かなくても構いません。(当たり前)

「未来は僕等の手の中」
ミライハボクラノテノナカ

もう逃げたりしない。あなたがおしえてくれたから。

だれのものでもない、あたしの

未来。

夢をなくした蘭のもとに、ある日とどいた一通のラブレター。それは、
あまりにもまぶしくて……。

『 毛利 蘭様 』

『 ずっと君をみてました 』

できれば 僕の未来を

君にずっとみてほしいです

今日の放課後

海辺でまっています 』

“ 未来 ” ……？

そんなもの わたしには 。

まぶしくて

なにも見えないよ

.
ラブレターを「クシャクシャ」に、するわたしが自分で嫌になる .

.
初めて貰ったのに

『パタパタ』

.
誰かが教室に来る 「誰？」そう呟くわたし
.

「毛利センパ あ！！じゃなくて、

も 毛利さん えっとその」

もう一人の方が言った

.
「バカ！！えつとね、毛利さん いろいろ大変だと思って

だから文化祭の……ミーティング……でなくていいから
さ……、

ほ、ほら病院とか……」

「え？」

冷たい言葉……、わたしに二人の同級生は言った……。

「だからー、うちらでやっとかね、だから……あんまりムリ
に来なくて

いいからさ……!」

病気で留年……、同級生からはいまだ「センパイ扱い」

大好きな空手もやめてるし……そんなわたしに未来なんて……

未来を捨てるためにたくさんの薬の入った袋を捨てる……中に入
ってた薬も……。

「毛利さん?! うっそマジで?? 手紙読んでここにきてくれたんだ
よね??」

夢みてーな!!! 超嬉しい!!!!!!」

途中で薬を隠すわたし……。

「あ！！自己紹介しなきゃ！！！！！！ごめん、ごめん……。

オレ、工藤新一！！！！十七歳で将来は、平成のホームズ！！！！の
予定……

ちなみに帝丹高校でおなじ学校！！！！だからー、大家族OK！
！！！！

子供最低でも、五人ね！！五人！！！！え？だめ？？んじゃ、三人
ね！！！！」

「わたし、誰とも付き合わないって考えてるから……じゃーね
……」

無視してわたしは帰った……。。。

でも悲劇は突然起こったんだ……。。。

ある日、鳴るはずのないわたしの携帯電話に電話が掛かってきた。
……。。。

誰だろ……。。。。。。？

「もしもし……毛利です……」

「も、もしもし毛利さん?! あたし、園子、鈴木園子!! 毛利さん、大変なの!!!!」

新一が!!!! 新一が!!!! 早く、学校の海辺に来て!!!!!!
」

鈴木さんは新一の幼馴染で同級生………。急いで学校の海
辺へと向かった……。

走り出すわたし………。なぜ?? なぜ、わたしは走ってるの
???

「きょうさー、波荒いのに海で遊ぶ奴がわるくねえー???」

「でもおー、その奴が溺れてるのを助けた奴の方、うらしいよ……」

「でも……まだ、高校二年だろ?? もったいないよ……
死んじゃうなんてよ」

もう、わたしには未来がない……………

新一……………あなたがいなきや見えないよ……………

わたの未来が……………、なにもかもが……………見え
ない……………

一年後

「マネージャー!!!! もう終わって帰りまーす!!!!」

新一、やっぱりわたし、空手……………やめない事にしたよ……………。

「らん!!!!!!一緒に帰ろう!!!!!!」

今度は、わたしがあなたにわたしの未来を見せてあげる……………。

あなたの未来は……………新一の未来はわたしと新一の手の平に見
られない様に、

隠してあるんだよ……………。

(後書き)

はじめまして!! 越前リョーマといます。

このお話はわたしの姉が持っている漫画をコナンバージョン(小説版)

にした物です。もしよかったら、感想を書いてください!!!!!!
でわ!!!!!!!!!!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0380a/>

未来は僕等の手の中

2010年10月10日21時54分発行